

## 目次

ファームウェアV3.00の新機能 .....	1
タイムラインモードでの波形表示：WAVEFORM VIEW機能（有償オプション）の追加 .....	2
タイムラインモードの各種表示の追加／改善 .....	5
マークバーでのマーク名表示の追加 .....	6
IN / OUT間再生機能の追加 .....	6
マークスキップモード設定を追加 .....	7
キーボード操作の追加 .....	7
RS-232Cコマンド対応の追加 .....	7
TASCAM RC-900の“8 : HS [C](TmLine)”モードに対応 .....	7
プレイリストのロード・インポート時にAuto Cueポイントをプレイリストエントリーの開始時刻に自動で一括設定する機能を追加 .....	7
Auto Cueポイントをプレイリストエントリーの開始時刻に一括、または個別で設定する機能を追加 .....	8
ポップアップメッセージの追加 .....	9
ファームウェアV2.11の新機能 .....	10
プレイリストモード：エントリー毎のリピート再生設定を追加 .....	10
プレイリストモード：エントリー 1、2のタイマー再生機能を追加 .....	11
オンライン機能：Linked to Fader機能の追加 .....	12
USBメモリー対応 .....	12
BROWSE画面の追加 .....	13
RS-232Cによるリモートコントロール対応の追加 .....	16
外付けキーボードのSHIFTキーとBACKSPACEキーによる全クリア機能の追加 .....	16
ポップアップメッセージの追加 .....	16

## ファームウェアV3.00の新機能

ファームウェアV3.00より、次の新機能を追加しました。

- タイムラインモードにおいて、音声波形を表示するWAVEFORM VIEW機能（有償オプション）を追加
- タイムラインモードの各種表示の追加／改善
  - 1) IN-OUT間の時間表示の追加
  - 2) マーク名表示の追加
  - 3) タイムバー表示モードの追加
  - 4) タイムラインの現在時刻カーソル位置の移動機能の追加
  - 5) フェードIN/OUTを示す斜線表示の追加
  - 6) タイムライン情報のポップアップ表示の追加
  - 7) 2トラック時のリージョン表示サイズの拡大
- マークバーでのマーク名表示の追加
- IN / OUT間再生機能の追加
- ◀◀ / ▶▶キー単独でマークスキップ操作ができるようにする“MARK SKIP MODE”設定を“SYSTEM SETUP”画面の“PREFERENCES”タブ画面を追加
- キーボード操作の追加
- RS-232Cコマンド対応の追加
- TASCAM RC-900の“8 : HS [C](TmLine)”モードに対応
- プレイリストのロード・インポート時にAuto Cueポイントをプレイリストエントリーの開始時刻に自動で一括設定する機能を追加
- Auto Cueポイントをプレイリストエントリーの開始時刻に一括、または個別で設定する機能を追加

## タイムラインモードでの波形表示：WAVEFORM VIEW機能（有償オプション）の追加

タイムラインモードにおいて、音声波形を表示するWAVEFORM VIEW機能（有償オプション）を追加しました。この機能により編集作業の効率化が実現し、また送出時に音声を波形で確認できるようになります。

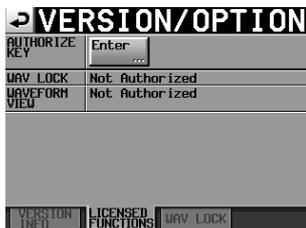
### 1) WAVEFORM VIEW機能を使用可能にする

1. WAVEFORM VIEW機能のAuthorize Keyを購入します。

#### メモ

Authorize Keyの購入につきましては、タスカム カスタマーサポートにご相談ください。（→ 4ページ「タスカム カスタマーサポートお問い合わせ先」）

2. “VERSION/OPTION” 画面の “LICENSED FUNCTIONS” タブ画面の “AUTHORIZE KEY” 項目の “Enter” ボタンをタッチします。



3. “AUTHORIZE KEY” 入力画面が表示されるので、購入した Authorize Keyを “-”（ハイフン）を含めて入力します。



間違ったAuthorize Keyを入力するとエラーメッセージが表示され、再度 “AUTHORIZE KEY” 入力画面に戻ります。



#### メモ

内蔵時計が現在時刻と一致していない場合もこのメッセージが表示されます。

このメッセージが表示された場合は、内蔵時計が正しい日時に設定されているか確認してください。

4. 正しいAuthorize Keyを入力すると、“Authorize Key Accepted.” とメッセージが表示されます。



“OK” ボタンを押すと、“WAVEFORM VIEW” 項目が “Authorized” と表示された “LICENSED FUNCTIONS” タブ画面に切り換わります。



### 2) 画面構成

ホーム画面のタイムラインモードの表示が3種類 (“METER MODE” / “EDIT MODE” / “WAVEFORM MODE”) の表示に変更されました。

表示を切り換えるには、画面右上の表示モードボタンを押して表示されるプルダウンメニューで切り換えます。

#### メモ

WAVEFORM VIEW機能をAuthorizeしていない場合は、“WAVEFORM MODE” の表示に切り換えることはできません。

Authorize Keyの購入につきましては、タスカム カスタマーサポートにご相談ください。（→ 4ページ「タスカム カスタマーサポートお問い合わせ先」）

#### ● METER MODE表示

大きなメーターと背の低いタイムラインリージョンを表示します。



#### ● EDIT MODE表示

編集操作をするための表示です。



### ● WAVEFORM MODE表示 (有償オプション)

再生時の波形確認をしやすいするため、波形を大きく表示します。

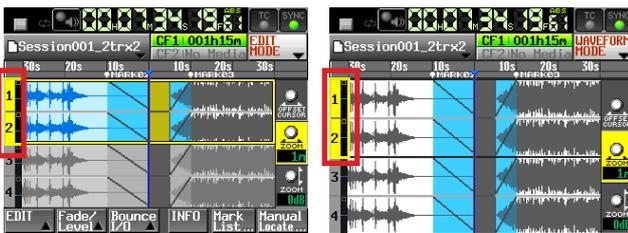


#### メモ

- “METER MODE” 画面では、横向きメーター部分をタッチすることで、選択したチャンネルをソロモニターすることができます。



- “EDIT MODE” 表示と “WAVEFORM MODE” 表示では、波形左端の番号/メーター部分をタッチすることで、選択したチャンネルをソロモニターをすることができます。



### ● 時間方向のズームイン/アウト

“ZOOM ← →” ノブを押して、ノブの背景を黄色いハイライト表示にします。

DATAダイヤルを回して、波形の時間方向の表示をズームします。

設定範囲：0.25s、0.5s、1s、2s、6s、12s、30s、1m、2m、5m、10m、30m、1h、3h、6h、12h、24h

### ● 波形の振幅方向のズームイン/アウト

“ZOOM ↑ ↓” ノブを押して、ノブの背景を黄色いハイライト表示にします。

DATAダイヤルを回して、波形の振幅方向の表示をズームします。これにより、レベルの小さい波形の確認が可能です。

設定範囲：0dB～+72dB (6dB/step)

#### メモ

“METER MODE” 表示では、“Zoom” ノブをタッチすることで “Zoom ← →” と “Zoom ↑ ↓” の表示を切り換えて操作します。

### 3) 波形表示可能な音声素材の総時間

- 波形表示ができる音声素材の長さの総計には、下記制限があります。

48kHz/2ch：約6時間  
48kHz/4ch：約3時間  
96kHz/2ch：約3時間  
96kHz/4ch：約1.5時間

#### メモ

- 残りどれだけの長さの波形表示ができるかは、6ページ「6) タイムライン情報のポップアップ表示の追加」で説明するタイムライン情報ポップアップ表示の “Free Waveform Time” 項目で確認することができます。
- タイムライン上に貼り付けた音声素材の長さの総計が上記制限を超えた場合は、以下のようになります。
  - 制限を超えた部分の波形は表示されません。
  - セッション名ボタンの右上に “⚠” アイコンが表示されます。
  - セッション名ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの “TIMELINE INFO” ボタンの左下にも “⚠” アイコンが表示されます。
  - タイムライン情報ポップアップウィンドウの “Free Waveform Time” 項目に “⚠” アイコンと “None” が表示されます。
- タイムライン上からリージョンを削除しただけでは、波形の表示可能時間は回復しません。表示可能時間を回復させるには、4ページ「4.2 波形表示データのリフレッシュ機能」で説明する波形表示データのリフレッシュを実施してください。

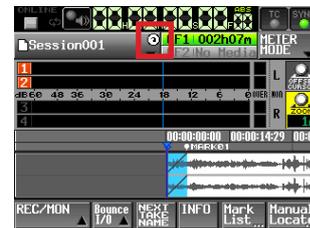
### 4) 波形表示データの生成

#### 4.1 波形表示データの生成タイミング

波形表示データは、下記のタイミングで自動的に生成されます。

- 録音時は、録音と同時に並行で波形表示データを生成。
- タイムラインへのWAVファイルの貼り付け時は、貼り付け時に自動的に波形表示データを生成。
- 旧バージョンや本機以外で生成されたEDLファイルをロード時は、初めてロードする時に自動的に波形データを生成。

波形データ生成中は、セッション名ボタン右上に生成処理中であることを示すグルグル回るプログレスアイコンを表示します。



[ 波形表示データの生成処理中表示 ]

録音・再生中は波形データの生成を一時停止し、下記のようなアイコンを表示します。



## 4.2 波形表示データのリフレッシュ機能

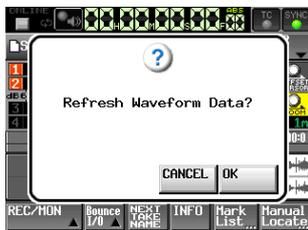
以下のような場合に、波形表示データをリフレッシュします。

- 表示されている波形が音声の内容と一致していない場合  
(名前やサイズなどは同じだが音声データの異なるファイルを上書きした場合など)
- タイムライン上から削除したリージョン分の波形表示可能時間を回復させたい場合

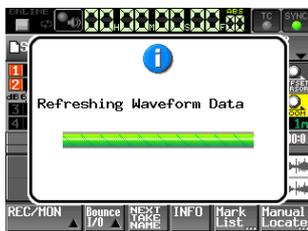
1. セッション名表示ボタンを押して、プルダウンメニューの“REFRESH WAVEFORM” ボタンを押します。



波形表示データのリフレッシュ機能を実施するかの確認メッセージがポップアップウィンドウに表示されます。



2. ポップアップウィンドウ内の“OK” ボタンを押します。  
リフレッシュ機能を実施中は、処理の進行状況がポップアップウィンドウに表示されます。



## 5) WAVEFORM VIEW機能を使用可能にしていない状態での制限

- タイムラインリージョンに波形は表示されません。



- “WAVEFORM MODE” 画面への切り換えはできません。



- REFRESH WAVEFORMを実施できません。



- “TIMELINE INFO” 画面に “Free Waveform Time” は表示されません。



- “ZOOM ↑↓” ノブの選択/操作はできません  
(ノブを押しても背景を黄色いハイライト表示にならない)



タスカム カスタマーサポートお問い合わせ先  
音響機器事業部 営業統括部 国内営業部 放送・業務機器販売課  
電話：043-356-9140  
受付時間は、10:00～12:00 / 13:00～17:00  
(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

## タイムラインモードの各種表示の追加／改善

タイムラインモードの作業効率を向上させる、様々な表示を追加／改善しました。

### 1) IN-OUT間の時間表示の追加

IN / OUTの両方が設定されているときに、タイムラインファイル名ボタンの下部にIN-OUT間の時間（編集対象の長さ）を表示するようにしました。



### 2) マーク名表示の追加

タイムラインのマークバーにマーク名を表示するようにしました。また、カレント時刻と一致したマーク名を青色で表示するようにしました。これにより、マーク位置に頭出しできていることが確認しやすくなりました。



### 3) タイムバー表示モードの追加

タイムバー表示を、下記2種類で切り換えて表示できるようにしました。

- リージョンと一緒に移動する現在時刻表示



- 現在位置からの相対時間表示



相対時間表示では、波形表示と合わせて、何秒後に素材が送出されるかの確認が容易になります。

### メモ

- タイムバー表示をタッチすることで、現在時刻表示と相対時間相対時刻表示を切り換えることができます。
- タイムバー表示モードの初期設定は、タイムラインの表示モードによって異なります。

タイムライン表示モード	タイムバー表示モードの初期設定
METER MODE	現在時刻
EDIT MODE	相対時間
WAVEFORM MODE	相対時間

### 4) タイムラインの現在時刻カーソル位置の移動機能の追加

現在時刻を示すカーソル位置を左右に移動できるようにしました。これにより、運用に合わせて最適な表示を選択できるようになります。

1. “OFFSET CURSOR” 表示ノブを押して、ノブの背景を黄色いハイライト表示にします。
2. DATAダイヤルを回してカーソルを移動します。表示範囲の左右両端までセンター±3ステップ分移動します。



[ 3ステップ左に移動時 ]

[ 2ステップ右に移動時 ]

### 5) フェードIN / OUTを示す斜線表示の追加

リージョンのフェードIN / OUTエリアに、フェードIN / OUTを示す斜線を表示するようにしました。



また、セッション名表示ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの“TIMELINE INFO” ボタンの左下にも“△”アイコンが表示されます。

### 6) タイムライン情報のポップアップ表示の追加

タイムラインの先頭/末尾/長さ/波形表示可能時間のポップアップ表示を追加しました。

セッション名表示ボタンを押して表示されるプルダウンメニューの“TIMELINE INFO” ボタンを押すと、タイムライン情報を表示するポップアップウィンドウを表示します。



また、タイムラインの情報を表示するポップアップウィンドウの“Free Waveform Time” 項目に“△”アイコンと“None”が表示されます。



残りどれだけの長さの波形表示ができるかは、“Free Waveform Time” 項目で確認することができます。



### ● タイムライン上に貼り付けた音声素材の長さの総計が上記時間を超えた場合

タイムライン上に貼り付けた音声素材の長さの総計が上記時間を超えた場合には、超えた部分の波形は表示されません。

そのとき、セッション名表示ボタンの右上に“△”アイコンが表示されます。

### 7) 2トラック時のリージョン表示サイズの拡大

2トラックのタイムラインの場合、2トラックのリージョンを表示エリア全体に拡大して表示するようにしました。



### マーカーでのマーク名表示の追加

タイムラインモードだけでなく、テイク/プレイリスト (シングル) / オンエアの各モードにおいても、マーカーにマーク名を表示するようにしました。また、カレント時刻と一致したマーク名を青色で表示することで、マーク位置に頭出しできていることが確認しやすくなりました。

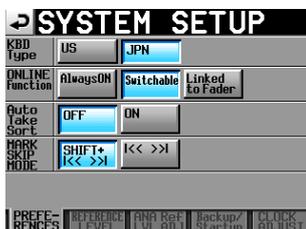
### IN / OUT間再生機能の追加

タイムラインモードにおいて、フロントパネルのSHIFT + PLAYキー操作により、IN / OUT間再生 (IN点から再生を開始し、OUT点で再生を停止) ができるようにしました。

## マークスキップモード設定を追加

◀◀ / ▶▶キー単独でマークスキップ操作ができるようになる  
“MARK SKIP MODE” 設定を追加しました。

“SYSTEM SETUP” 画面の “PREFERENCES” タブ画面に追加された  
“MARK SKIP MODE” 項目で設定を行います。



### “MARK SKIP MODE”

マークスキップ操作のキーアサインを選択します。

この設定により、テイク／リージョンスキップ操作のキーアサインも切り換わります。

#### 選択肢

設定	マークスキップ操作キー	テイク／リージョンスキップ操作キー
SHIFT+◀◀▶▶ (初期値)	SHIFTキーを押しなが ら◀◀▶▶キー	◀◀▶▶キー単独
◀◀▶▶	◀◀▶▶キー単独	SHIFTキーを押しなが ら◀◀▶▶キー

## キーボード操作の追加

外付けキーボード／VNCキーボードでの下記操作に対応しました。

- SHIFT + F1 : Mark Skip ◀◀
- SHIFT + F2 : Mark Skip ▶▶
- SHIFT + F3 : CHASE

- SHIFT + F4 : RETAKE
- SHIFT + F5 : IN / OUT間再生

## RS-232Cコマンド対応の追加

RS-232Cコマンドによるタイムライン向けの下記操作に対応しました。

- Time Zoom + / -
- Level Zoom + / -
- IN / OUT点の設定 / クリア
- IN / OUT間再生
- カーソル移動モード切り換え
- カーソル移動

## TASCAM RC-900の “8 : HS [C](TmLine)” モードに対応

TASCAM RC-900 V1.40で追加されたMACHINE SEL “8 : HS [C](TmLine)” モードに対応しました。

## プレイリストのロード・インポート時にAuto Cueポイントをプレイリストエントリーの開始時刻に自動で一括設定する機能を追加

プレイリストのロード・インポート時／この設定のOFFからONへの切替時に、Auto Cueポイントをプレイリストエントリーの開始時刻に自動で一括設定する機能を追加しました。

“PLAY SETUP” 画面 “CONTROL” タブ画面に追加された  
“PLAYLIST AutoCue When PLAYLIST Loaded/Imported” 項目で  
設定を行います。



#### 選択肢

設定	内容
OFF (初期値)	下記動作を実施しない。
ON	プレイリストのロード／インポート時、またはこの設定のOFFからONへの切り換え時に、Auto Cueポイントをプレイリストエントリーの開始時刻に自動で一括設定する。

#### メモ

- この設定がONの状態でもAuto Cue Levelを変更しても、Auto Cueポイントは再設定しません。
- ADJUST ENTRY画面でのLevelやFadeの設定に関わらず、ファイルの原音に対してAuto Cueポイントを検出します。
- ファイルの先頭から終了時刻の範囲でAuto Cueポイントを検出します。
- Auto Cueポイントが見つからなかった場合は、開始時刻は変更しません。
- 開始時刻の変更がある場合、Fade In設定はクリアされます。
- Auto CueポイントがFade Out開始位置以降の場合、Fade Out設定はクリアされます。
- プレイリストモードでONLINEがONの状態（Always ON時は除く）では、この設定をONに切り換えできません。

#### 注意

- プレイリストエントリーをアサインしたタイミングでは、この機能は動作しません。このエントリーの開始時刻にAuto Cueポイントを設定する場合は、次項で説明する方法により手動で設定してください。
- プレイリストモードでこの設定がONの場合、CFカード、プロジェクト、セッション、プレイリスト等のロード時間がOFFの場合よりも長くなりますのでご注意ください。なお、時間のかかり方は、プレイリストに登録されたファイルの数や長さ、音量やAuto Cueレベルの設定などによって変わります。

## Auto Cueポイントをプレイリストエントリーの開始時刻に一括、または個別で設定する機能を追加

Auto Cueポイントをプレイリストエントリーの開始時刻に一括、または個別で設定する機能を追加しました。

## 一括設定手順 (1) / 個別設定手順 (1)

1. ホーム画面のファイル名ボタンプルダウンメニューに追加された“CAPTURE CuePoint” ボタンを押します。



2. 下記ポップアップメッセージが表示されます。



## メモ

ポップアップウィンドウ内の“CANCEL” ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

3. ポップアップウィンドウ内の“CAPTURE CURRENT” ボタンを押すと、下記ポップアップメッセージが表示されます。



“CAPTURE CURRENT” ボタンを押すと、カレントエントリーの開始時刻にAuto Cueポイントを登録します。

## メモ

ポップアップウィンドウ内の“CANCEL” ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

4. ポップアップウィンドウ内の“CAPTURE ALL” ボタンを押すと、下記ポップアップメッセージが表示されます。



ポップアップウィンドウ内の“CAPTURE ALL” ボタンを押すと、全エントリーの開始時刻にAuto Cueポイントを一括登録します。

## メモ

ポップアップウィンドウ内の“CANCEL” ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

## 一括設定手順 (2)

1. プレイリストのエントリーリスト画面、またはファイルアサイン画面のプルアップメニューに追加された“CAPTURE CuePoint” ボタンを押します。



2. 下記ポップアップメッセージが表示されます。



## メモ

ポップアップウィンドウ内の“CANCEL” ボタンを押すとエントリーリスト画面またはファイルアサイン画面に戻ります。

3. ポップアップウィンドウ内の“CAPTURE ALL” ボタンを押すと、下記ポップアップメッセージが表示されます。



ポップアップウィンドウ内の“CAPTURE ALL” ボタンを押すと、全エントリーの開始時刻にAuto Cueポイントを一括登録します。

## メモ

ポップアップウィンドウ内の“CANCEL” ボタンを押すと、エントリーリスト画面またはファイルアサイン画面に戻ります。

4. ポップアップウィンドウ内の“RESET ALL” ボタンを押すと、下記ポップアップメッセージが表示されます。



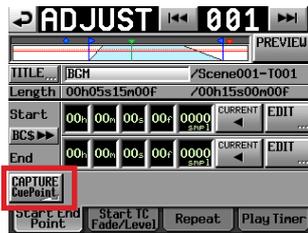
ポップアップウィンドウ内の“RESET ALL” ボタンを押すと、全エントリーの開始/終了時刻をファイルの先頭/末尾時刻にリセットします。

## メモ

ポップアップウィンドウ内の“CANCEL” ボタンを押すと、エントリーリスト画面またはファイルアサイン画面に戻ります。

## 個別設定手順 (2)

1. ADJUST ENTRY画面のStart End Pointタブ画面に追加された“CAPTURE CuePoint” ボタンを押します。



2. 下記ポップアップメッセージが表示されます。



3. ポップアップウィンドウ内の“CAPTURE” ボタンを押すと、選択したエントリーのAuto Cueポイントを開始時刻に登録します。  
ポップアップウィンドウ内の“RESET” ボタンを押すと、選択したエントリーの開始/終了時刻をファイルの先頭/末尾時刻にリセットします。  
ポップアップウィンドウ内の“CANCEL” ボタンを押すとADJUST ENTRY画面に戻ります。

## ポップアップメッセージの追加

メッセージ	内容と対処方法	備考
Refresh Waveform Data?	波形データをリフレッシュします。	
Refreshing Waveform Data ...	波形データをリフレッシュしています。	
"nnnnnnnn" Timeline Head : HH:MM:SS Timeline Tail : HH:MM:SS Timeline Length : HHhMMmSSs Free Waveform Time : HHhMMm	タイムライン情報表示	"nnnnnnnn" = セッション名 Timeline Head : タイムライン先頭時刻 Timeline Tail : タイムライン末尾時刻 Timeline Length : タイムラインの長さ Free Waveform Time : 波形生成可能残り時間* * WAVEFORM VIEW機能が有効な場合のみ表示
Cannot EDIT. There is no edit region on CH*** Please Unselect CH*** or set IN/OUT points.	現在時刻のチャンネル***にリージョンがないため、編集できません。 チャンネル***の選択を解除するか、IN / OUT点を設定してください。	*** : 1-2 or 3-4 2trx2モードのタイムラインにおいて、IN / OUT点が設定されていない状態で全チャンネルを選択している際、現在時刻の一方のチャンネルにリージョンがない場合のCopy/Cut/Erase操作時に表示。
Cannot Divide. There is no edit region on CH*** Please Unselect CH***.	現在時刻のチャンネル***にリージョンがないため、分割できません。 チャンネル***の選択を解除してください。	*** : 1-2 or 3-4 2trx2モードのタイムラインにおいて全チャンネルを選択している際、現在時刻の一方のチャンネルにリージョンがない場合のDivide操作時に表示。
Select Target for Capture Cue Point	Auto Cueポイントの登録対象を全てのエントリーまたはカレントエントリーから選択してください。	
Capture Cue Point to Current? nnn:"NNNNNNNN" Cue Point -> Start	カレントエントリーの開始時刻にAuto Cueポイントを登録します。	nnn : エントリー番号 "NNNNNNNN" : エントリー名
PLEASE CONFIRM Capture Cue Point to Current? Cue Point -> Start	カレントエントリーの開始時刻へのAuto Cueポイント登録実施の再確認。	
Capture Cue Point to ALL? Cue Point -> Start	全てのエントリーの開始時刻にAuto Cueポイントを登録します。	
PLEASE CONFIRM Capture Cue Point to ALL? Cue Point -> Start	全てのエントリーの開始時刻へのAuto Cueポイント登録実施の再確認。	
Capture Cue Point? Cue Point -> Start	ADJUST中エントリーの開始時刻にAuto Cueポイントを登録します。	

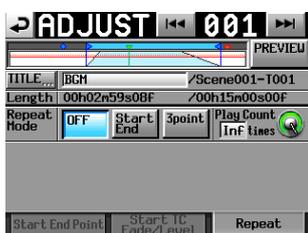
## ファームウェアV2.11の新機能

ファームウェアV2.11より、次の新機能を追加しました。

- プレイリストモード：エントリー毎のリpeat再生設定を追加
- プレイリストモード：エントリー 1、2のタイマー再生機能を追加
- オンライン機能：Linked to Fader機能の追加
- USBメモリー対応
- BROWSE画面の追加
- RS-232Cによるリモートコントロール対応の追加
- 外付けキーボードのSHIFTキーとBACKSPACEキーによる全クリア機能の追加
- ポップアップメッセージの追加

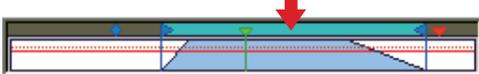
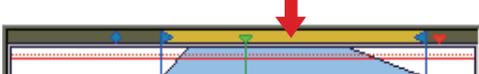
### プレイリストモード：エントリー毎のリpeat再生設定を追加

プレイリストエントリー毎のリpeat再生設定を“ADJUST”画面の“Repeat”タブ画面を追加しました。



#### Repeat Mode

リpeat再生の設定ボタンです。

OFF (初期値)	<p>リpeat再生しません。 画面上部（カーソルヘッドがある領域）の再生範囲が水色で表示されます。</p> <p>再生範囲：水色</p> 
Start End	<p>再生開始位置と再生終了位置の間を設定回数リpeat再生します。 画面上部（カーソルヘッドがある領域）のリpeat再生範囲が橙色で表示されます。</p> <p>リpeat再生範囲：橙色</p> 
3point	<p>リpeat再生の開始位置と終了位置の間を設定回数リpeat再生します。 画面上部（カーソルヘッドがある領域）のうち、通常再生範囲が水色で、リpeat再生範囲が橙色で表示されます。</p> <p>再生範囲：水色</p> <p>リpeat再生範囲：橙色</p> 

#### Play Count

リpeat再生する回数の設定つまみです。

つまみを押し、パラメーター表示部の背景を黄色く反転させ、DATAダイヤルを使って設定します。

設定範囲：1～99、Inf（初期値：1）

#### Repeat Start / Repeat End

リpeat再生の開始位置／終了位置を設定します。

Repeat Modeが“3point”に設定されているときだけ表示され、設定できます。

設定方法は、“Start End Point”タブ画面の再生開始位置（“Start”）／終了位置（“End”）と同じです。



#### メモ

- Repeat Modeが“Start End”または“3point”に設定されている場合、ホーム画面 タイムバー左側に“99/99”のように「リpeatアイコン リpeat再生した回数／リpeat再生回数設定」を表示します。  
“Play Count”が“Inf”に設定されている場合は、“99-/99”と表示されます。



- リピート再生範囲を再生中にプレイキーを押すと、設定回数再生していない状態でもリピート再生をやめ、リピート終了位置を通り越してエントリー末尾まで再生します。

この際、ホーム画面のタイムバー左側に表示される「リピート再生した回数」の表示値は、「**“Play Count”** 設定値」になります。

#### 【例】

“Play Count” が10回 / Inf 回に設定されたエントリーをリピート再生中にプレイキーを押すと、ホーム画面のタイムバー左側に “10/10” / “∞/∞” と表示され、リピート終了位置を通り越してエントリー末尾まで再生します。

- Repeat Modeが“3point”に設定されている際、リピート再生できない状態では、下記ようになります。

#### リピート再生できない状態

リピート再生開始位置がリピート再生終了位置よりも後ろ  
リピート再生開始位置 / 終了位置の両方またはいずれかが、再生範囲外

“ADJUST” 画面上部（カーソルヘッドがある領域）のリピート再生範囲の橙色は表示されません。



ホーム画面 タイムバー左側のリピート再生状態 / 設定表示部は、**“OFF”** のように灰色で表示されます。

- PREVIEW OFF時は、“ADJUST” 画面でのリピート再生を行いません。PREVIEW ON時は、Fade IN/OUT設定、レベル設定およびリピート設定どおりの音を再生します。

## プレイリストモード：エントリー 1、2のタイマー再生機能を追加

タイムコードジェネレーターが指定時刻になると再生を開始するタイマー再生機能の設定を、プレイリストエントリー 1、2の“ADJUST” 画面の“Play Timer” タブ画面に追加しました。



### Play Timer

タイマー再生機能の有効 / 無効を設定します。

- Disable (初期値) : タイマー再生を実施しません。
- Enable : タイマー再生を実施します。

### Time

タイマー再生を実施するタイムコード時刻 (時分秒) を設定します。タッチすると背景が黄色くなり、DATAダイヤルで操作できます。(初期値 : 00:00:00)

### Mode

タイマー再生の動作モードを設定します。

- START TIME (初期値) : 指定時刻に再生を開始します。
- END TIME : 指定時刻に再生を終了するように、再生を開始します。

### メモ

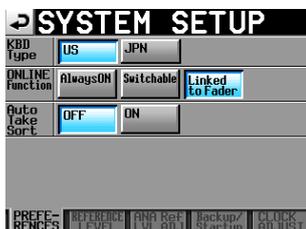
- エントリー 1、2以外の“ADJUST” 画面では、“Play Timer” タブ画面は表示されません。
- “Play Timer” 項目を“Enable”に設定してホーム画面に戻ると、本機に接続されたTASCAM RC-HS32PDの該当するフラッシュキー 1行目に、タイマー再生開始時刻が表示されます。
- “Play Timer” タブ画面の“Mode”項目を“END TIME”に設定した場合、タイマー再生開始時刻は再生時間の長さ分だけ設定時刻より前となります。
- “Repeat” タブ画面でリピート再生設定を有効にし、“Play Timer” タブ画面の“Mode”項目を“END TIME”に設定した場合は、タイマー再生開始時刻はリピート再生時間を含んだ再生時間の長さ分だけ設定時刻より前となります。ただし、“Repeat” タブ画面の“Play Count”項目が“inf”に設定されている場合は再生時間の長さが不明なため、タイマー再生開始時刻はリピート再生しない場合と同じ時刻 (Start-Endの時間の長さ分だけ設定時刻より前) となります。

### 注意

“ADJUST” 画面表示中は、タイマー再生開始時刻になっても再生を開始しません。

## オンライン機能：Linked to Fader機能の追加

外部リモコン（別売のTASCAM RC-HS32PDなど）のフェーダー操作によってオンライン再生モードの切り換えを行うオンライン機能設定「Linked to Fader」を、“SYSTEM SETUP”画面の“PREFERENCES”タブ画面に追加しました。



### ONLINE Function：Linked to Fader

外部リモコン（別売のTASCAM RC-HS32PDなど）のフェーダーを∞から上げると、オンライン再生モードがオンに切り換わります。外部リモコン（別売のTASCAM RC-HS32PDなど）のフェーダーを∞に下げると、オンライン再生モードがオフに切り換わります。

### メモ

- 外部リモコン（別売のTASCAM RC-HS32PDなど）が接続されている場合、オンライン機能の設定を「Linked to Fader」に設定していると、フロントパネルのONLINEキー、外部リモコン（別売のTASCAM RC-HS32PDなど）のONLINEキー、パラレル端子、およびシリアル端子（RS-232C）によりオンライン再生モードの切り換え操作を行っても、下記メッセージが表示されてオンライン再生モードは切り換わりません。



- 外部リモコン（別売のTASCAM RC-HS32PDなど）が未接続の場合、オンライン機能の設定を「Linked to Fader」に設定していても、フロントパネルのONLINEキー、パラレル端子、およびシリアル端子（RS-232C）でオンライン再生モードの切り換えを行うことができます。

## USBメモリー対応

USBメモリーからのデータの取り込みや、USBメモリーへのデータのコピーに対応しました。

これに伴い、“CF MANAGE”画面を“MEDIA MANAGE”画面に名称を変更し、USB FORMAT機能とUSBメモリー／カレントメディア間のコピー機能を追加しました。



### 注意

“FORMAT”項目内のコマンドおよびコピーを行った場合、対象のメディアのデータは全て消去されます。十分確認の上で行ってください。

### CURRENT MEDIA

現在選択されているメディア名とその状態を表示します。

### MEDIA SELECT

“MEDIA SELECT”画面を表示します。  
録音／再生するメディアを選択します。

## CF FORMAT

選択されているメディアをフォーマットします。

QUICKボタン	メディアの管理領域のみを初期化します。
FULLボタン	メディアの全領域を初期化します。
QUICK & Create Projectボタン	メディアの管理領域のみの初期化を行った後に、現在の設定のプロジェクトの作成を自動で行います。

## USB FORMAT

USBメモリーをフォーマットします。

QUICKボタン	USBメモリーの管理領域のみを初期化します。
FULLボタン	USBメモリーの全領域を初期化します。

## MEDIA COPY

メディアの内容をコピーします。

CF1 → CF2 CF2 → CF1	選択されているメディアから選択されていないメディアにメディア全体をコピーします。
CF1 → USB CF2 → USB	選択されているメディアからUSBメモリーにメディア全体をコピーします。
USB → CF1 USB → CF2	USBメモリーから選択されているメディアにメディア全体をコピーします。

## BROWSE画面の追加

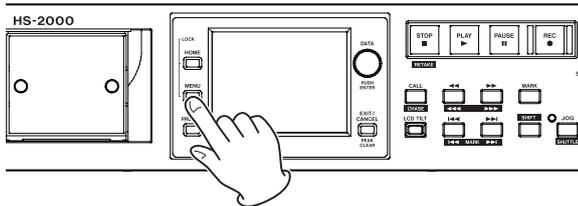
CFカード、USBメモリーのフォルダー／ファイルの表示／操作を行う“BROWSE”画面を追加しました。

CFカードおよびUSBメモリーのフォルダー／ファイルの表示／操作を以下の手順で説明します。

- フォルダー／ファイルを表示する
- フォルダー／ファイルの情報を表示する
- フォルダー／ファイルを削除する
- フォルダー／ファイルをコピーする

### フォルダー／ファイルを表示する

1. フロントパネルのMENUキーを押すと、以下の“MENU”画面を表示します。



2. “BROWSE” ボタンを押して、“BROWSE”画面を表示します。初回は、メディア選択画面が表示されます。2回目以降は、最後に表示したメディア／フォルダーの内容が表示されます。



[CF1の場合]

### メモ

- “TOP” ボタンを押すと、メディア選択画面に戻ります。
- “Current” ボタンを押すと、カレントメディアのカレントセッションフォルダー内に移動します。
- カレントメディアのカレントプロジェクトフォルダーおよびカレントセッションフォルダーは、“G”アイコンに“C”が表示され、黄色のハイライト表示になります。

3. 内容を確認したいメディア／フォルダーの“→” ボタンを押すと、そのメディア／フォルダー内に移動します。



[フォルダー：“Project01”の場合]

4. 更に下層のフォルダーに移動する場合は、表示されているフォルダー名の“→” ボタンを押します。



5. 上層に移動する場合は、画面左上の表示中のメディア名／フォルダー名が描かれたボタンを押します。



### フォルダー／ファイルの情報を表示する

1. 情報を表示したいフォルダー／ファイルが含まれるメディア／フォルダーに移動します。



[CF1の場合]

2. フォルダー／ファイルを選択します。



[フォルダー：“Project01”の場合]

選択されたフォルダー／ファイル名の背景が黄色になります。

3. “INFO” ボタンを押すと、選択されたフォルダー／ファイルの情報をポップアップ表示します。
  - フォルダーを選択している場合は、フォルダーの作成日時が表示されます。



- BWF / WAVファイル以外を選択している場合は、ファイルの更新日時とファイルサイズが表示されます。



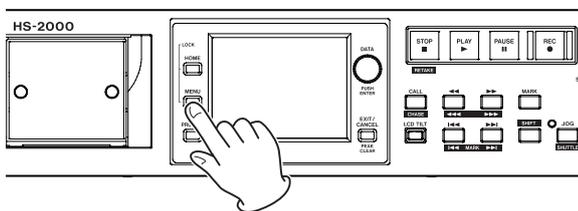
- BWF / WAVファイルを選択している場合は、下記情報が表示されます。



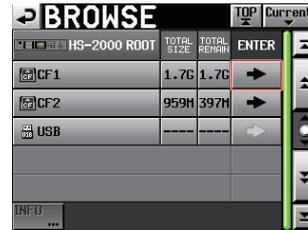
- ファイルの更新日時
- ファイルサイズ
- サンプリング周波数
- bit長／チャンネル数
- 時間長／START T/C

## フォルダー／ファイルをコピーする

1. フロントパネルのMENUキーを押すと、以下の“MENU”画面を表示します。



2. “BROWSE” ボタンを押して、“BROWSE” 画面を表示します。



[CF1の場合]

3. コピーしたいフォルダー／ファイルが含まれるメディア／フォルダーに移動します。



[フォルダー：“Project01”の場合]

コピーするのフォルダー／ファイル名を選択します。  
 選択されたフォルダー／ファイル名の背景が黄色くなります。

4. “MENU” ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。

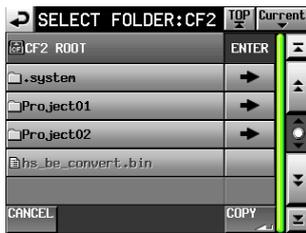


5. プルアップメニュー項目“COPY” ボタンを押すと、コピー先フォルダーの選択画面に切り換わります。
6. コピー先のフォルダーに移動します。
  - 初回コピーの際は、メディア選択画面になりますのでコピー先フォルダーが含まれるメディアの“→” ボタンを押して、コピー先フォルダーに移動します。



[初回のメディア選択画面]

- 2回目以降は、最後に表示したコピー先フォルダーの選択画面になります。



[前回CFカードを選択していた場合]

## メモ

- コピー先選択中は“BROWSE”表示が“SELECT FOLDER”表示の点滅に切り替わります。
- コピー先選択中に“CANCEL”ボタンまたは“←”ボタンを押すと、コピー先フォルダーの選択画面から“BROWSE”画面に戻ります。



7. “COPY”ボタンを押すと確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、問題なければ“OK”ボタンまたは“ENTER”キーを押すとコピーが実行されます。



コピーを中止する場合やコピー先を変更する場合は、“CANCEL”ボタンを押してください。

## メモ

コピー先に同じフォルダー名／ファイル名が存在した際は、“Cannot Copy Folder”または“Cannot Copy File”のポップアップウィンドウが表示されます。コピーするフォルダー名／ファイル名を変更する場合は“RENAME”ボタンを押してください。名前の入力方法は、HS-4000の取扱説明書 第5章「プロジェクト」の「プロジェクト名を編集する」を参照してください。

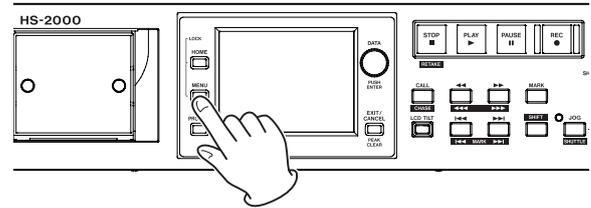


“CANCEL”ボタンを押すと、コピーを中止します。

8. コピー中はポップアップウィンドウが表示されます。コピーが完了するとポップアップウィンドウが消え、“BROWSE”画面に戻ります。

## フォルダー／ファイルを削除する

1. フロントパネルのMENUキーを押すと、以下の“MENU”画面を表示します。



2. “BROWSE”ボタンを押して、“BROWSE”画面を表示します。



[CF1の場合]

3. 削除したいフォルダー／ファイルが含まれるメディア／フォルダーに移動します。



[フォルダー：“Project01”の場合]

削除するフォルダー／ファイル名を選択します。選択されたフォルダー／ファイル名の背景が黄色くなります。

4. “MENU”ボタンを押して、プルアップメニュー項目を表示します。



5. プルアップメニュー項目“DELETE”ボタンを押します。

6. 確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、“OK” ボタンまたはDATAダイヤルを押します。



7. 再確認のメッセージがポップアップウィンドウに表示されますので、“OK” ボタンまたはDATAダイヤルを押すと削除が実行されます。



削除を中止する場合は、“CANCEL” ボタンを押してください。

8. 削除中はポップアップウィンドウが表示されます。削除が完了するとポップアップウィンドウが消え、“BROWSE” 画面に戻ります。



### 注意

タイムラインモードやプレイリストモードで使用されているフォルダー／ファイルや本機の管理ファイルであっても削除できますので、ご注意ください。  
タイムラインモードやプレイリストモードで使用されているテイクを削除した場合、該当リージョン／エントリーを再生しようとした際にエラーポップアップが表示されます。

### メモ

カレントセッションの音声ファイルを削除した場合、リビルドの実施確認メッセージが表示されますのでリビルドを実施してください。リビルドを実施しない場合、管理ファイルと音声ファイルとの間に不整合が生じるため“Play Error”とポップアップメッセージが表示される場合があります。  
リビルドが必要な状態になると、下記ボタンに  マークが表示されます。  
各種MENU内の“REBUILD” ボタンを押して、リビルドを実施してください。

- ホーム画面のファイル名表示ボタン
- “PROJECT” 画面の“MENU” ボタン
- 各種MENU内の“REBUILD” ボタン

## RS-232Cによるリモートコントロール対応の追加

RS-232Cによるリモートコントロールに対応しました。

## 外付けキーボードのSHIFTキーとBACKSPACEキーによる全クリア機能の追加

文字入力画面表示中に外付けキーボードのSHIFTキーを押しながら Back Spaceキーを押すことで、入力文字を全てクリアする機能を追加しました。

## ポップアップメッセージの追加

メッセージ	内容と対処方法	備考
Cannot Assign to Playlist. File property is not matched to current mode.	ファイルのプロパティが現在のモードと一致しないため、プレイリストにアサインできません。	
Cannot Change Now Fixed in current Fs.	現在のFsでは設定が固定されており、変更できません。	
Cannot Change Now Online Linked to Fader	Online FunctionがLinked to Faderに設定されているため、ONLINEキーではオンライン再生モードを切り替えできません。	
Cannot Change Now Play Fs setting is not OFF. Please change Play Fs to OFF.	Play Fs設定が-0.1%か+0.1%に設定されているため、切り換えできません。切り換えるには、Play FsをOFFに設定してください。	
--- Circle Take --- Did not Edit n take(s) that (is/are) read-only.	読み取り専用で設定されているため、テイク名に@を付けたり、削除したりできません。	n:テイク数